

# 閲覧用

※冊子が必要な方は事務所窓口または町経営企画課行政経営グループまでご連絡ください。

令和  
2  
年度  
決算



## グラフと写真でみる まちの決算と 財政状況

北海道栗山町

# もくじ



## グラフでみる決算概要

○全会計の決算概要と推移	2
○一般会計の決算概要	4
○国民健康保険特別会計の決算概要	6
○北海道介護福祉学校特別会計の決算概要	7
○介護保険特別会計の決算概要	8
○後期高齢者医療特別会計の決算概要	9
○住宅団地造成事業特別会計の決算概要	10
○工業団地造成事業特別会計の決算概要	11
○水道事業会計の決算概要	12
○下水道事業会計の決算概要	13



## 写真でみる主な実施事業

- 栗山町第6次総合計画の主要施策より -	15
-----------------------	----



## グラフでみるまちの財政状況

○基金残高の推移	22
○町債残高の推移	23
○財政健全化法に基づく指標からみた財政の健全化状況	24

参考

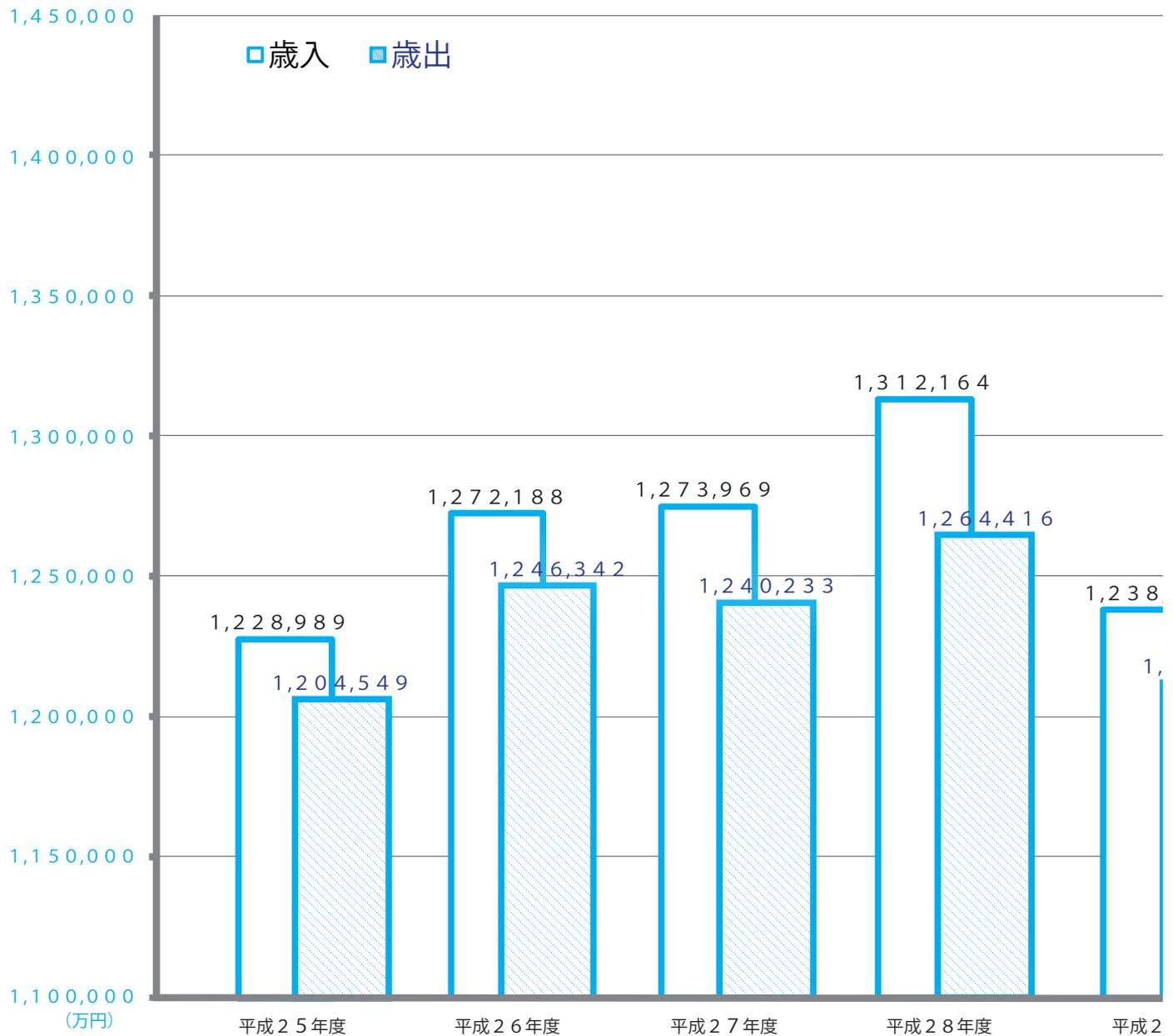
南空知9市町の令和元年度普通会計決算概要	25
----------------------	----



グラフでみる

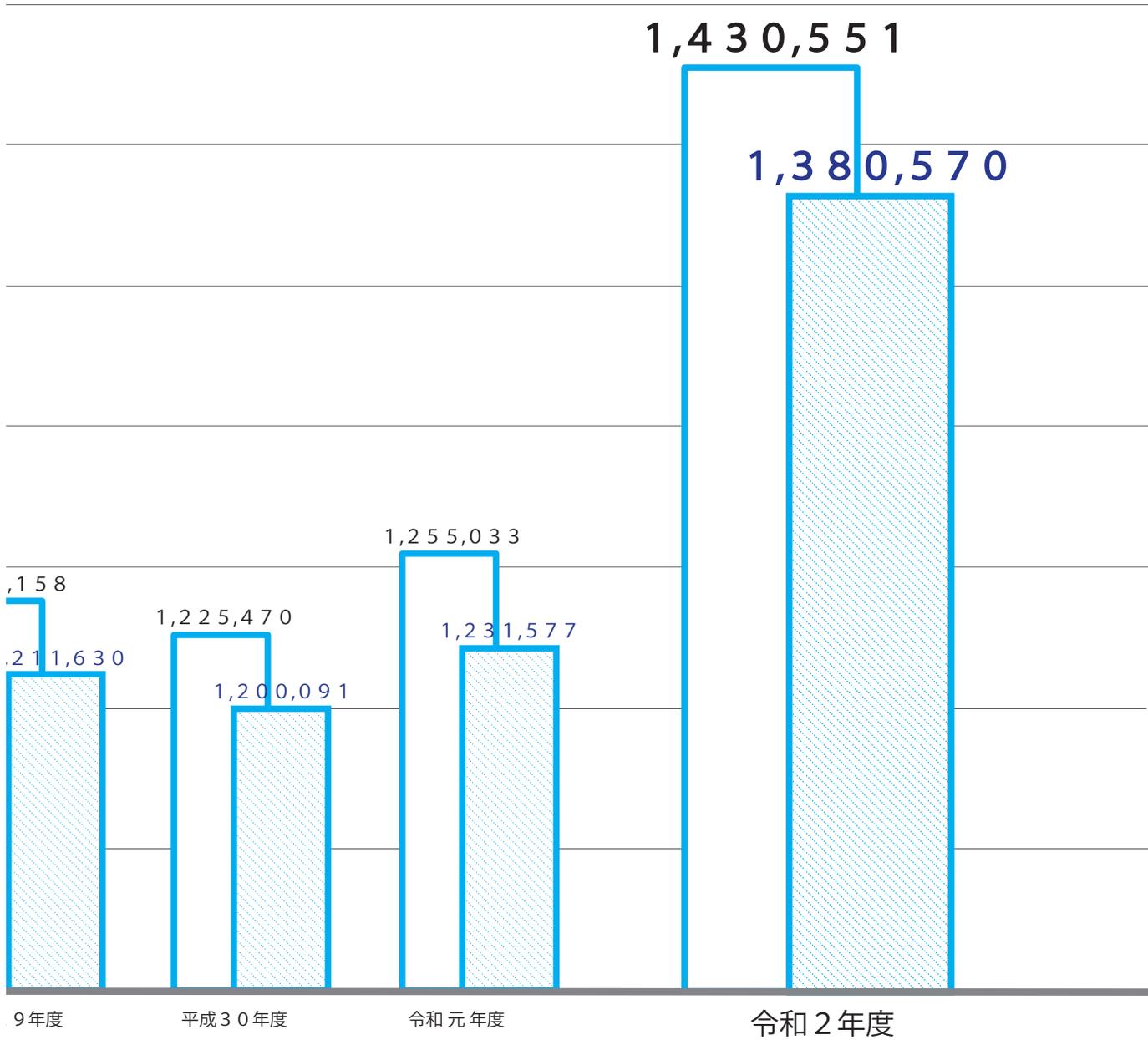
# 決算概要

## 全会計の決算概要と推移



令和2年度の一般会計・特別会計（国民健康保険特別会計、北海道介護福祉事業特別会計、工業団地造成事業特別会計）・企業会計（水道事業会計、下水道企業会計を除いた会計の令和2年度決算総額は、歳入で143億5511万48993万円の増）となりました。

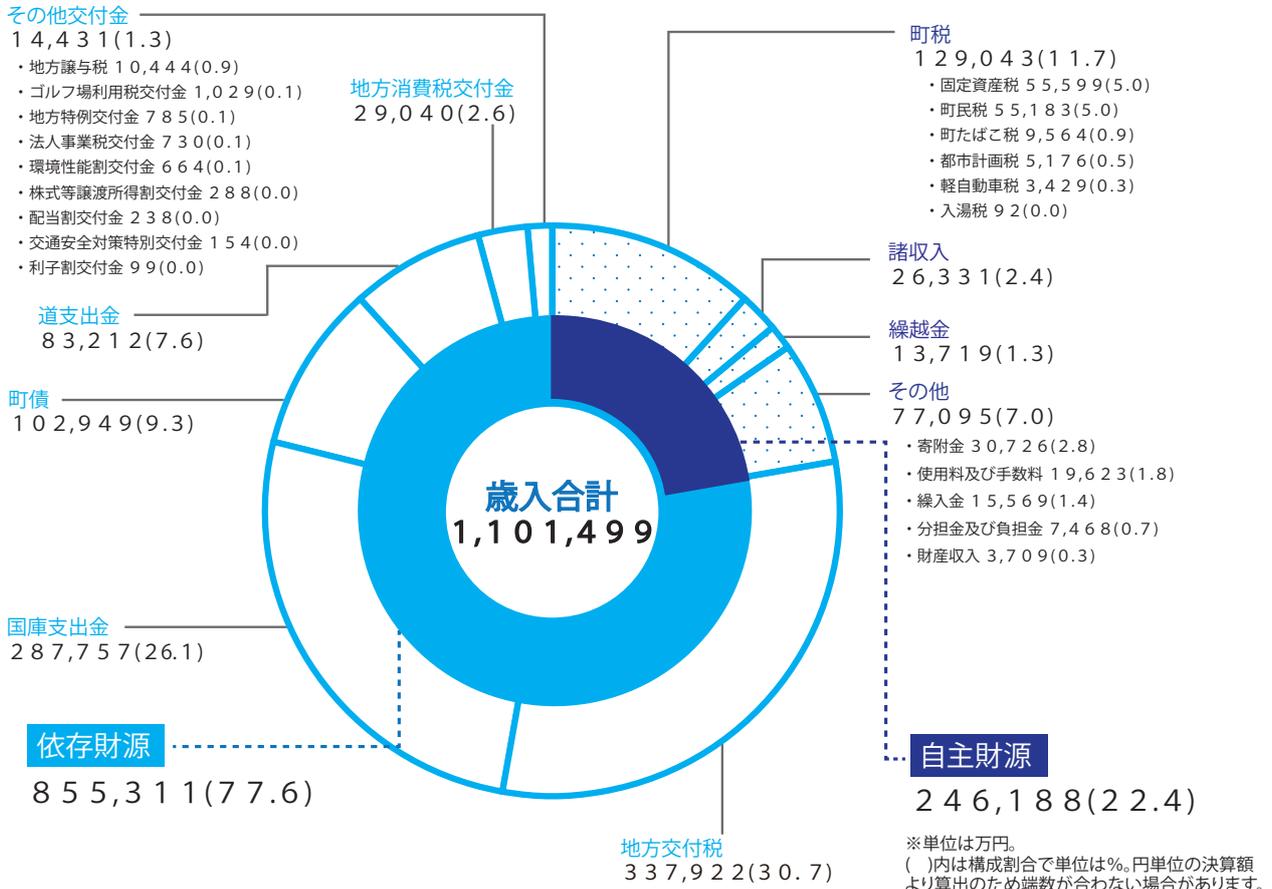
※企業会計（水道事業・下水道事業）を除いた  
全会計の合計値です。



社学校特別会計、介護保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、住宅団地造成事業会計）の決算が一般会計を除き、9月議会定例会で認定されました。

万円（前年比17億5,518万円の増）。歳出で138億570万円（前年比

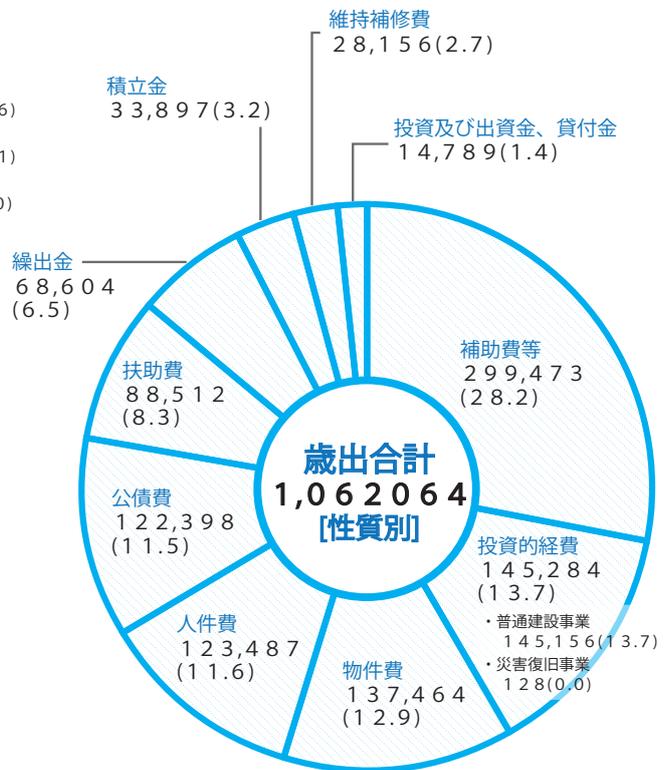
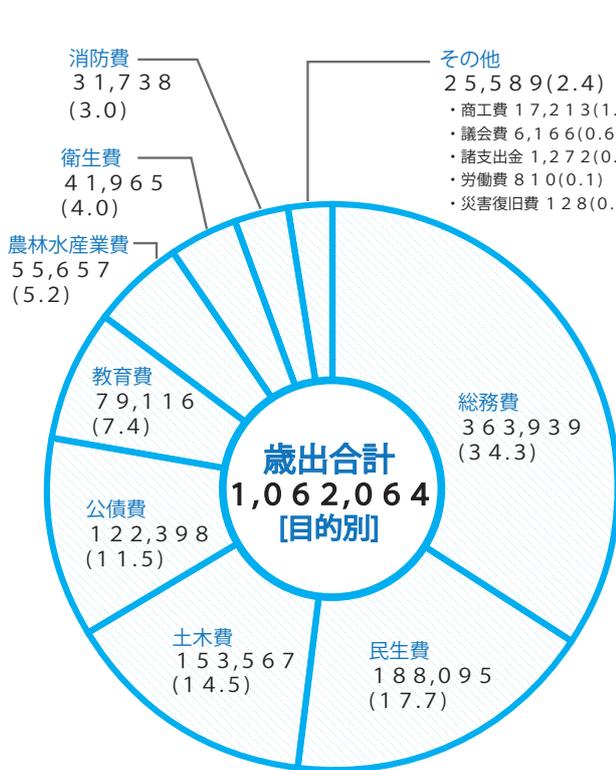
# 一般会計の決算概要



歳入総額は110億1,499万円。  
前年比18億2,902万円の増。

一般会計とは行政運営の基本となる会計で、福祉や教育、消防などまちづくりに広く関わる事業における会計です。歳入（収入）総額は110億1,499万2,672円。歳出（支出）総額は106億2,064万3,740円となり、差額の3億9,434万8,932円を次年度に繰り越しました。

なお、繰越額の中には、次年度に実施する事業財源1億6,743万6,000円が含まれているため、実質収支は2億2,691万2,932円になりました。



※単位は万円。  
 ( )内は構成割合で単位は%。円単位の決算額より算出のため端数が合わない場合があります。

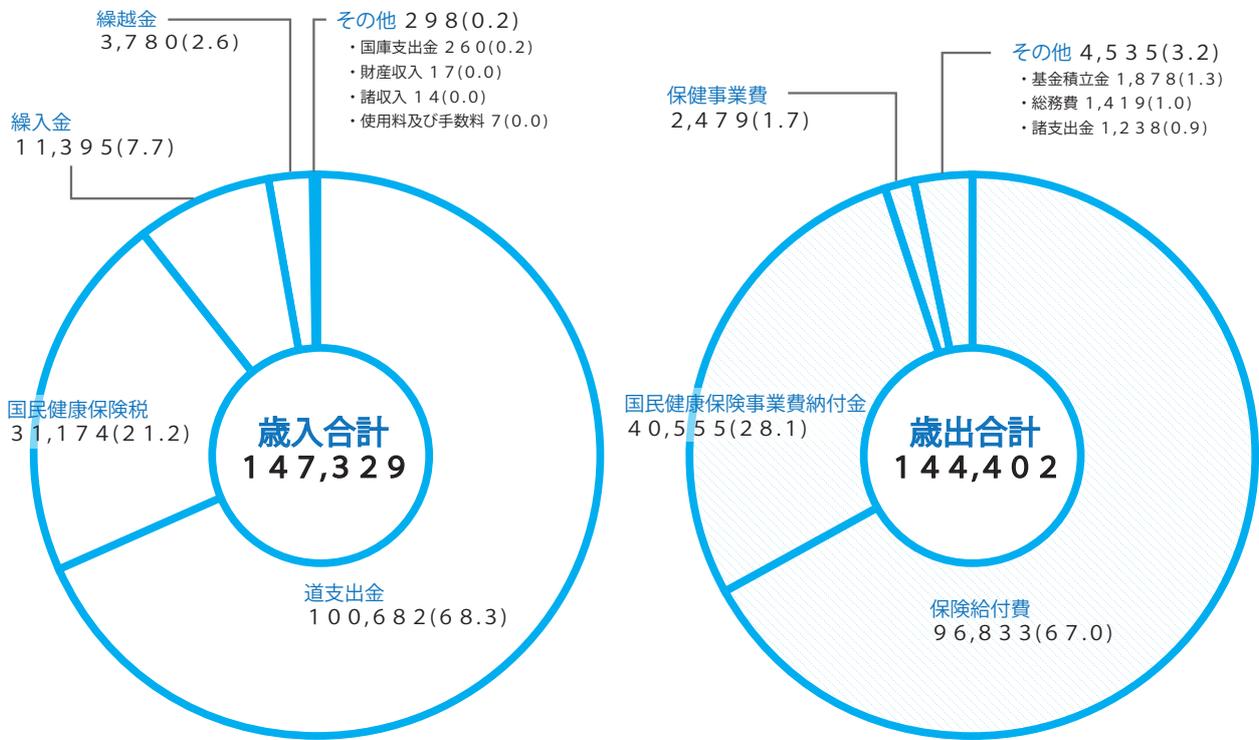
歳出総額は106億2,064万円。  
 前年比15億7,186万円の増。

歳入は、国庫支出金や町債の増により、前年度比で約18億2,902万円の増となりました。歳入全体の構成は町税や使用料など、町が独自に確保している自主財源の割合が22.4%、地方交付税や国・道からの交付金などの依存財源の割合が77.6%となりました。

歳出は、前年度比で約15億7,186万円の増となりました。増減が大きい費目としては、総務費が約17億8,553万円の増、農林水産業費が約3億9,020万円の減となりました。

歳出全体の構成は、総務費が最も多く、次に民生費、土木費と続いています。

# 国民健康保険特別会計の決算概要



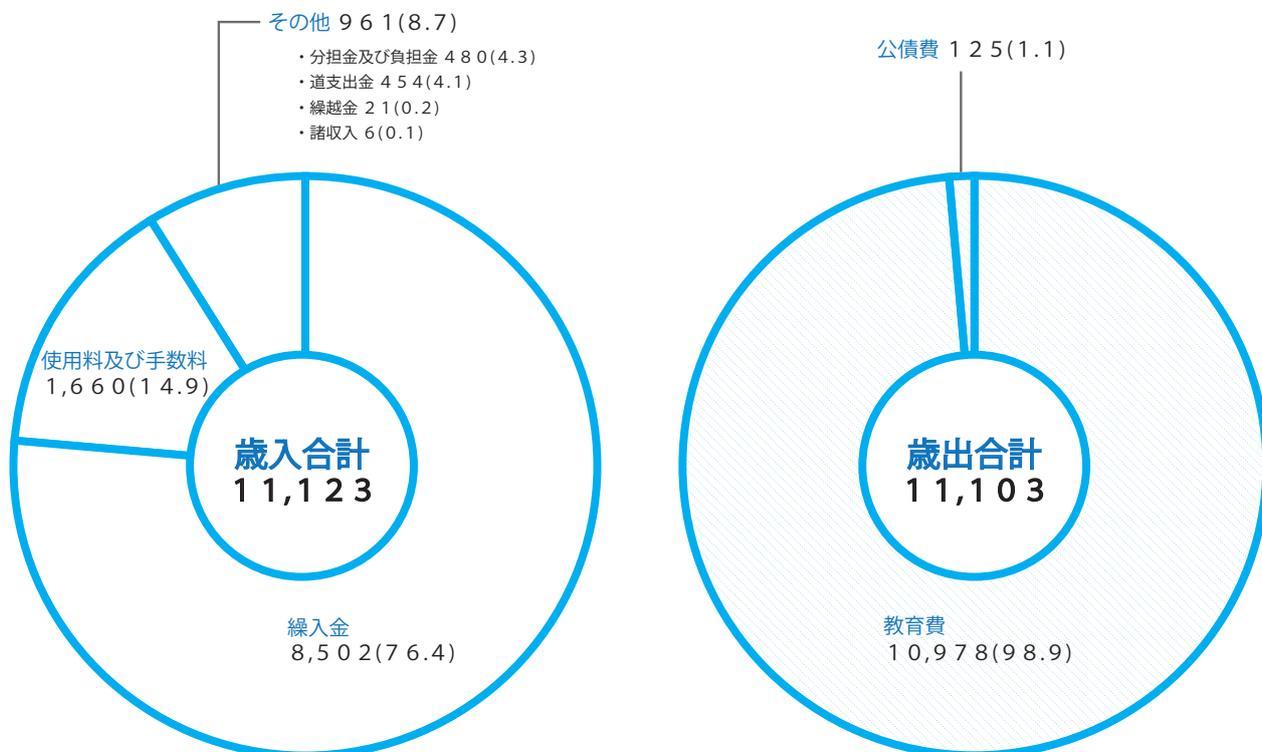
※単位は万円。  
 ( )内は構成割合で単位は%。円単位の決算額より算出のため端数が合わない場合があります。

歳入14億7,329万円。歳出14億4,402万円。  
 2,927万円を翌年度に繰り越しました。

国民健康保険特別会計とは、国民健康保険事業の円滑な運営とその経理の適正を図るため、一般会計と区分された会計です。

令和2年度末の国民健康保険に加入している世帯数は1,674世帯、被保険者数は2,847人で、町民の健康保持と増進のため保険給付を行い、医療保障の充実に努めました。

## 北海道介護福祉学校特別会計の決算概要



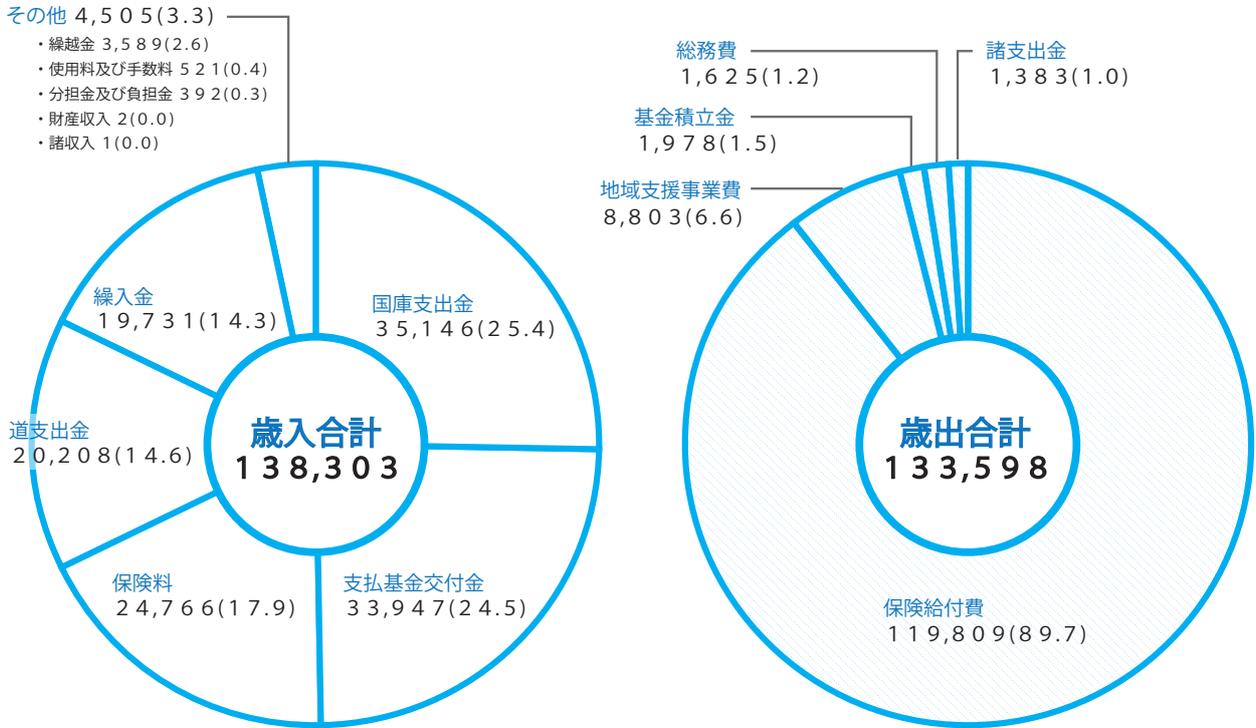
※単位は万円。  
( )内は構成割合で単位は%。円単位の決算額より算出のため端数が合わない場合があります。

歳入1億1,123万円。歳出1億1,103万円。  
20万円を翌年度に繰り越しました。

北海道介護福祉学校特別会計とは、町立北海道介護福祉学校の運営のため、一般会計と区分された会計です。

社会情勢などにより入学者数は減少傾向であるものの、介護福祉士人材の求人数は堅調で、開校以来32年連続就職率100%を達成しました。

# 介護保険特別会計の決算概要



※単位は万円。  
 ( )内は構成割合で単位は%。円単位の決算額より算出のため端数が合わない場合があります。

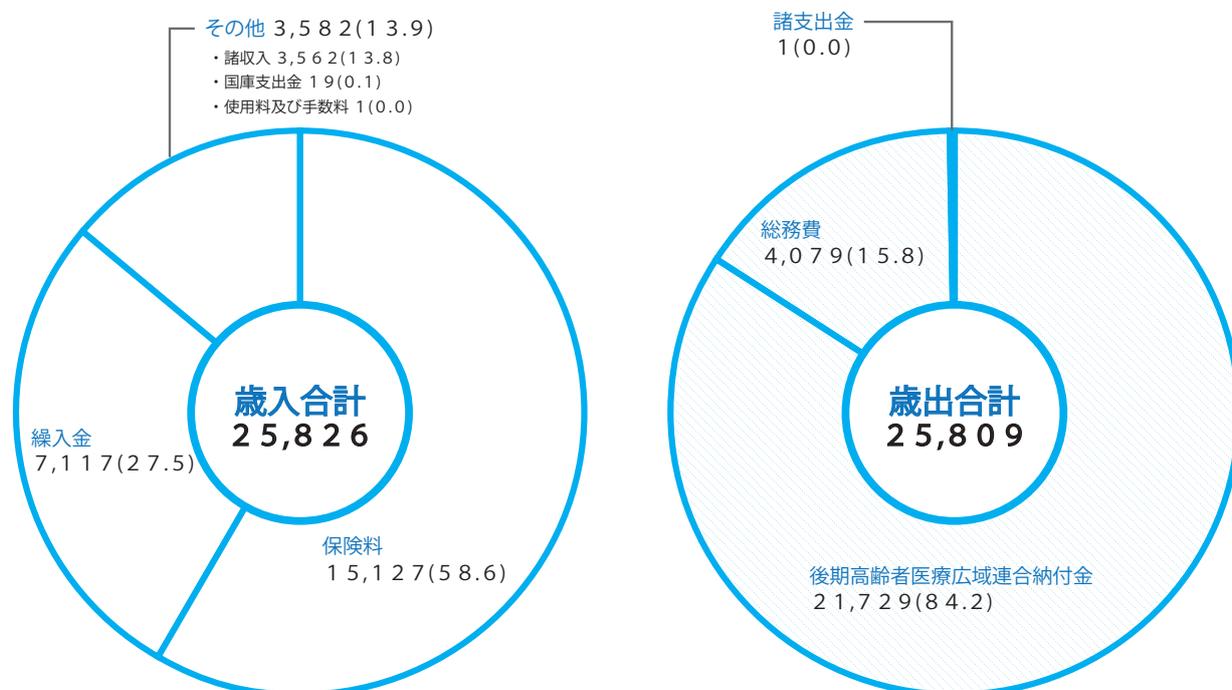
歳入13億8,303万円。歳出13億3,598万円。  
 4,705万円を翌年度に繰り越しました。

介護保険特別会計とは、介護保険事業の円滑な運営とその経理の適正を図るため、一般会計と区分された会計です。

適正な要介護認定を行うとともに、要介護・要支援者が能力に応じ、自立した日常生活を営むことができるよう保険給付を行い、福祉の増進に努めました。

また、将来に要介護・要支援状態になるおそれのある高齢者を対象に、介護予防を推進しました。

## 後期高齢者医療特別会計の決算概要



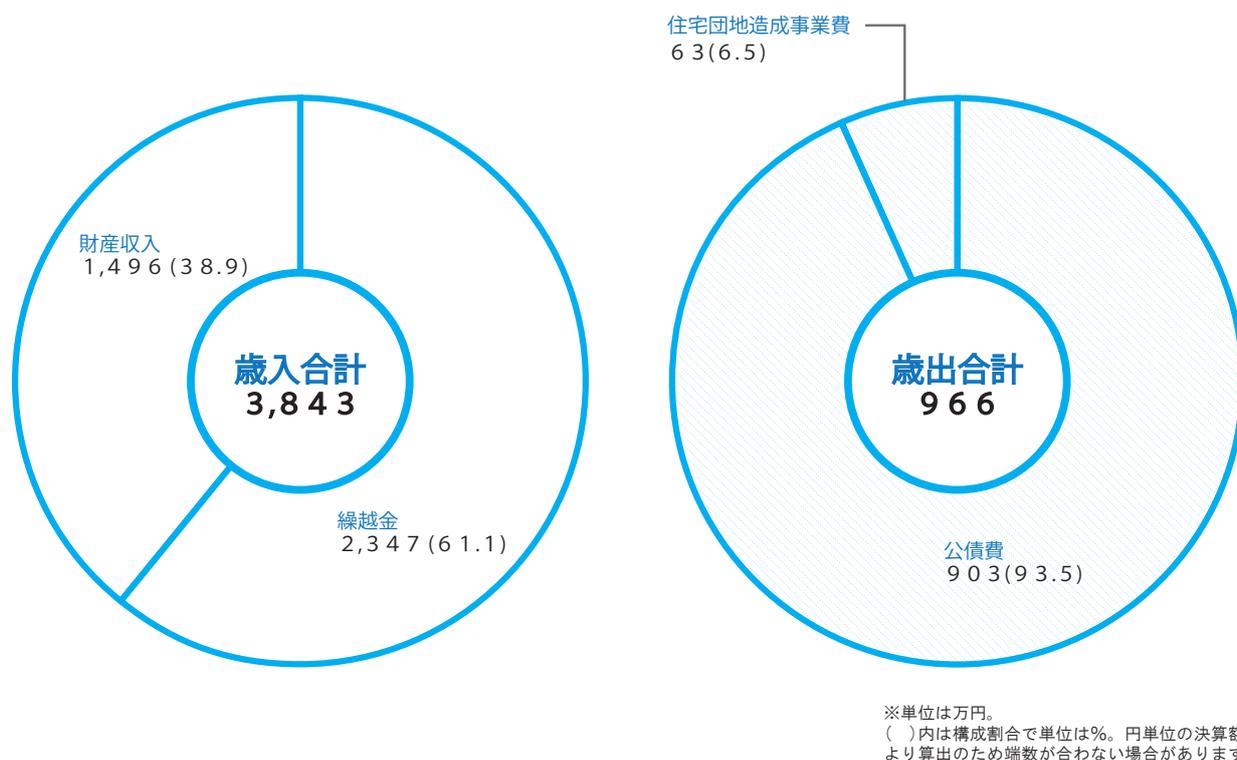
※単位は万円。  
( )内は構成割合で単位は%。円単位の決算額より算出のため端数が合わない場合があります。

歳入2億5,826万円。歳出2億5,809万円。  
17万円を翌年度に繰り越しました。

後期高齢者医療特別会計とは、後期高齢者医療事業の円滑な運営とその経理の適正を図るため、一般会計と区分された会計です。

北海道後期高齢者医療広域連合が主体となって運営していますが、本町では高齢者の健康保持と増進のため、被保険者の資格管理の窓口事務や保険料の徴収などを行い、医療費の適正化に努め、健全な医療給付を進めました。

## 住宅団地造成事業特別会計の決算概要

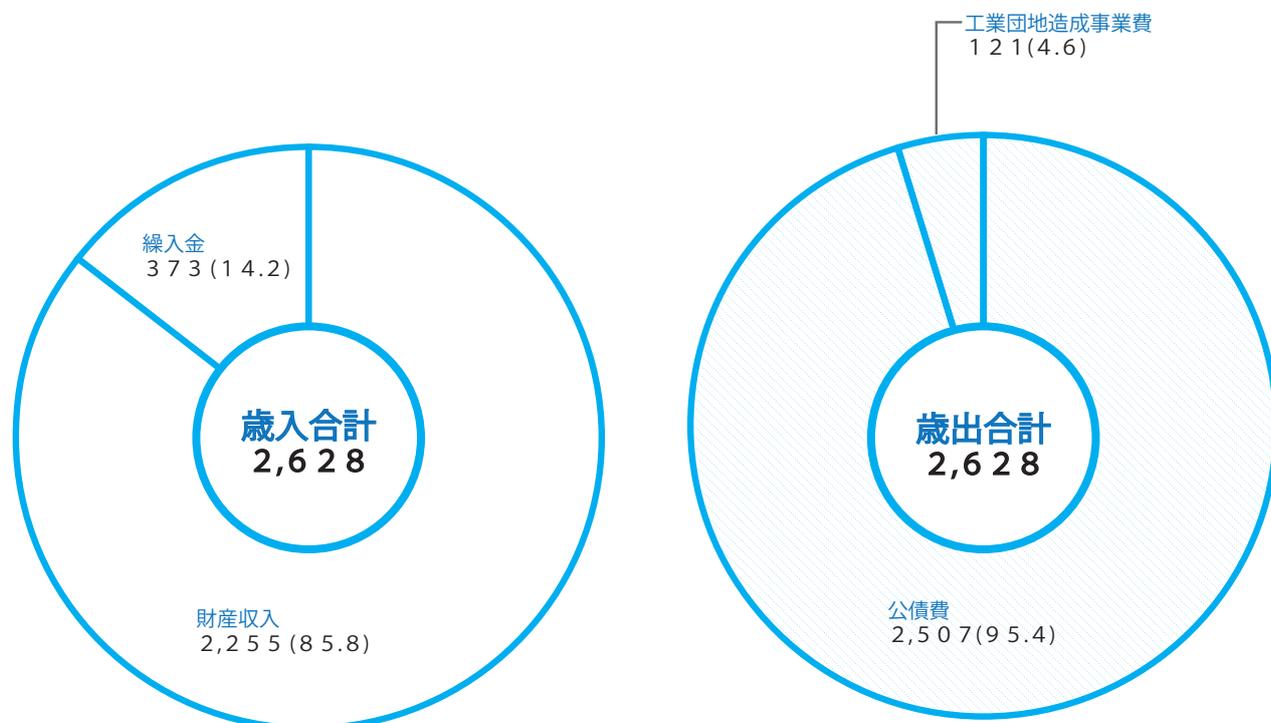


歳入3,843万円。歳出966万円。  
2,877万円を翌年度に繰り越しました。

住宅団地造成事業特別会計とは、朝日4丁目住宅団地第4期造成事業を実施するため、一般会計と区分された会計です。

平成27年10月より分譲を開始（全17区画）し、令和2年度末までに15区画を販売しました。

## 工業団地造成事業特別会計の決算概要



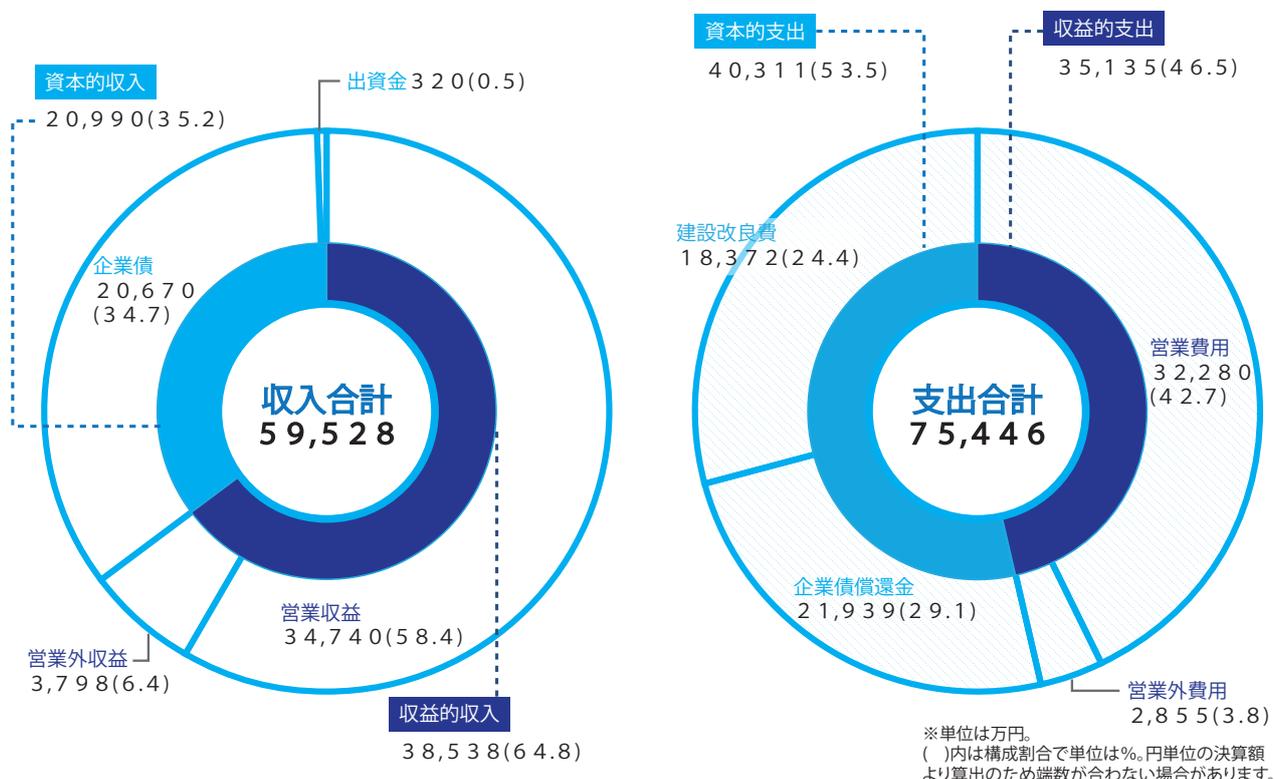
※単位は万円。  
( )内は構成割合で単位は%。円単位の決算額より算出のため端数が合わない場合があります。

歳入2,628万円。歳出2,628万円。

工業団地造成事業特別会計とは、第4工業団地造成事業を実施するため、一般会計と区分された会計です。

平成30年度より分譲を開始（全7区画）し、令和2年度末までに1区画を賃貸借、2区画を販売しました。

## 水道事業会計の決算概要



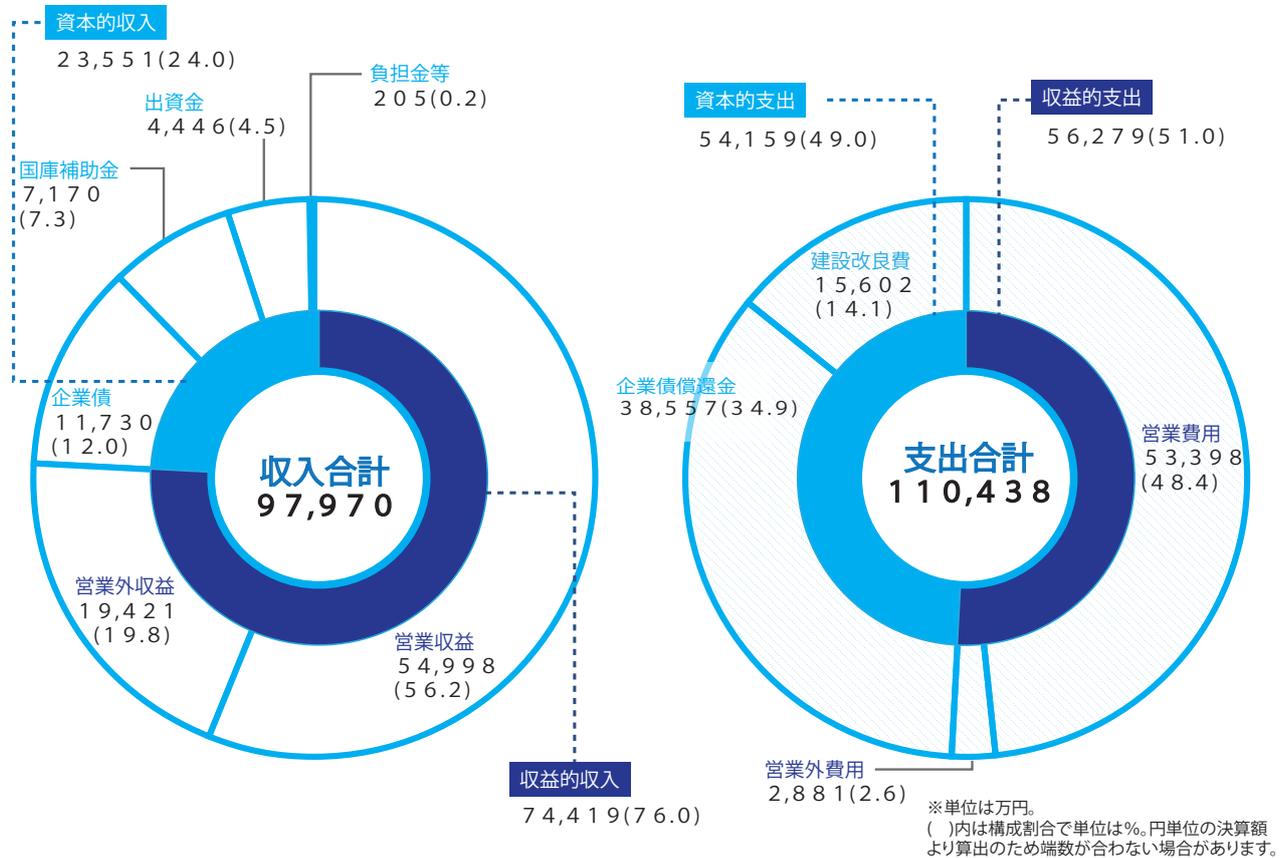
収入5億9,528万円。支出7億5,446万円。  
 会計処理上の不足額は損益勘定留保資金などで補てん。

水道事業会計とは、水道事業を運営するため企業会計によって区分された会計です。

水をつくりご家庭などに届けるための経費(収益的収支)では3,403万円の黒字となりましたが、浄水場の設備更新や配水管の整備などに使用するための経費(資本的収支)では1億9,321万円の不足となりました。

不足額については、減価償却費など収益的支出のうち現金の支出を必要としない費用によって生じた資金(損益勘定留保資金など)で補てんしました。

# 下水道事業会計の決算概要

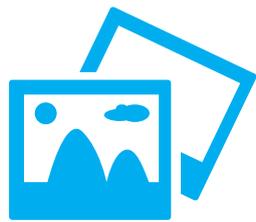


収入9億7,970万円。支出11億438万円。  
 会計処理上の不足額は損益勘定留保資金などで補てん。

下水道事業会計とは、下水道事業を運営するため企業会計によって区分された会計です。下水道管や下水道管理センターの維持管理に必要な経費（収益的収支）では1億8,140万円の黒字となりましたが、下水道管や下水道管理センターの設備更新や取り替えなどに使用するための経費（資本的収支）では3億608万円の不足となりました。

不足額については、減価償却費など収益的支出のうち現金の支出を必要としない費用によって生じた資金（損益勘定留保資金など）で補てんしました。





写真でみる

## 主な実施事業

栗山町第6次総合計画  
の主要施策より

※栗山町第6次総合計画に掲載されている計画事業番号、事業名、決算額及び、事業に関連した写真を掲載しています。

計画  
事業  
2

ごみ分別の正しい知識の普及啓発と  
協力体制づくりを進めます。



(ごみ処理施設での学習会)

決算額 1 5 3 千円

計画  
事業  
12

災害時の電源・燃料確保を推進しま  
す。



(カルチャープラザに整備された非常用電源)

決算額 4 1, 1 4 2 千円

計画  
事業  
15

防災訓練の実施と、町民の防災知識  
の啓発を推進します。



(くりっ子防災教室兼 1 日防災学校)

決算額 1 0 千円

計画  
事業  
20

消防団施設の更新など、充実・強化  
を図ります。



(継立に新設されたポンプ自動車用の車庫)

決算額 9, 9 2 9 千円

計画  
事業  
21

交通安全運動・教育を推進します。



(保育園での交通安全教室)

決算額 1, 6 3 0 千円

計画  
事業  
26

学校教育におけるICTの利活用を  
推進します。



(一人一台のパソコンを使用した授業)

決算額 1 1 7, 9 7 6 千円

計画  
事業  
51

学校経営改善を着実に推進しつつ、  
超高齢社会を支える優秀な介護福祉  
士を輩出します。



(介護福祉学校の授業の様子)

決算額 102,860 千円

計画  
事業  
198

栗山高校の未来像を話し合う町民委  
員会を設置します。



(委員会でもとめられた検討報告)

決算額 374 千円

計画  
事業  
56

青少年育成会活動を支援します。



(初級・上級リーダー研修会)

決算額 576 千円

計画  
事業  
62

国蝶オオムラサキの生息環境を保全・  
再生し、生態を公開します。



(オオムラサキ館での生物の説明)

決算額 15,107 千円

計画  
事業  
63

ハサンベツ地区の里山環境を保全・  
再生します。



(ハサンベツ里山の保全活動)

決算額 12,919 千円

計画  
事業  
72

町民が芸術文化に親しむことのできる  
環境づくりを推進します。



(「伊藤 正」の絵画展)

決算額 3,328 千円

計画  
事業  
206

高齢者の保健事業と介護予防事業を  
一体的に進めます。



(高齢者への健康教育)

決算額 25,379 千円

計画  
事業  
92

子ども医療費を助成します。



(高校3年生までの子どもの医療費助成)

決算額 19,844 千円

計画  
事業  
93

子育て家庭の支援や、子育てしやすい  
環境の充実を図ります。



(子育てサロンの様子)

決算額 13,371 千円

計画  
事業  
94

児童の健全な遊び・活動の場と、放  
課後の居場所づくりを進めます。



(放課後児童クラブの様子)

決算額 27,090 千円

計画  
事業  
101

高齢者が要介護状態にならないよう、  
介護予防事業を推進します。



(介護予防のための「運動教室」)

決算額 8,426 千円

計画  
事業  
106

地域の見守り・支え合い活動の充実を  
図ります。



(高齢者等の居場所づくりのためのまちなかカフェ)

決算額 8,556 千円

計画  
事業  
112

栗山の特性を生かした良質な農産物の生産を推進します。



(農業機械導入の支援)

決算額 1 1 4, 9 2 1 千円

計画  
事業  
117

中山間地域等における農業生産・多面的な機能確保を支援します。



(中山間地域の水路の泥上げの支援)

決算額 1 2 3, 6 7 0 千円

計画  
事業  
121

造林事業などにより適正な森林管理を推進します。



(適正な森林管理のために伐採された町有林)

決算額 3 1, 6 1 6 千円

計画  
事業  
193

ものづくりDIY工房の導入・活用を推進します。



(あさひ工房でのワークショップ)

決算額 1 2, 8 1 8 千円

計画  
事業  
125

新たな推進体制を構築するなど、観光事業の充実を図ります。



(シェアサイクル導入に向けた実証実験)

決算額 2, 4 6 0 千円

計画  
事業  
192

くりやま若者シティプロモーション事業を推進します。



(クリエイター向けのモニターツアー)

決算額 7, 5 7 3 千円

計画  
事業  
137

冬期間における道路環境の維持・確保を図ります。



(除雪の様子)

決算額 1 8 7 , 2 4 1 千円

事業  
139

町営バスの充実を図り、交通弱者の移動手段を確保します。



(コミュニティバスの運行)

決算額 8 7 , 2 4 3 千円

計画  
事業  
141

公営住宅の整備・改修を行います。



(新築された中央団地)

決算額 4 0 5 , 0 2 6 千円

計画  
事業  
152

新町地区の再開発整備事業に取り組みます。



(改修工事された中央4線)

決算額 1 9 1 , 7 2 9 千円

計画  
事業  
160

景観資源の保全・活用を図ります。



(くりやま景観フォトコンテスト展示会)

決算額 1 9 8 千円

計画  
事業  
187

町長のまちづくり懇談会やふれあい訪問を行い、町政への町民参画を推進します。



(まちづくり懇談会)

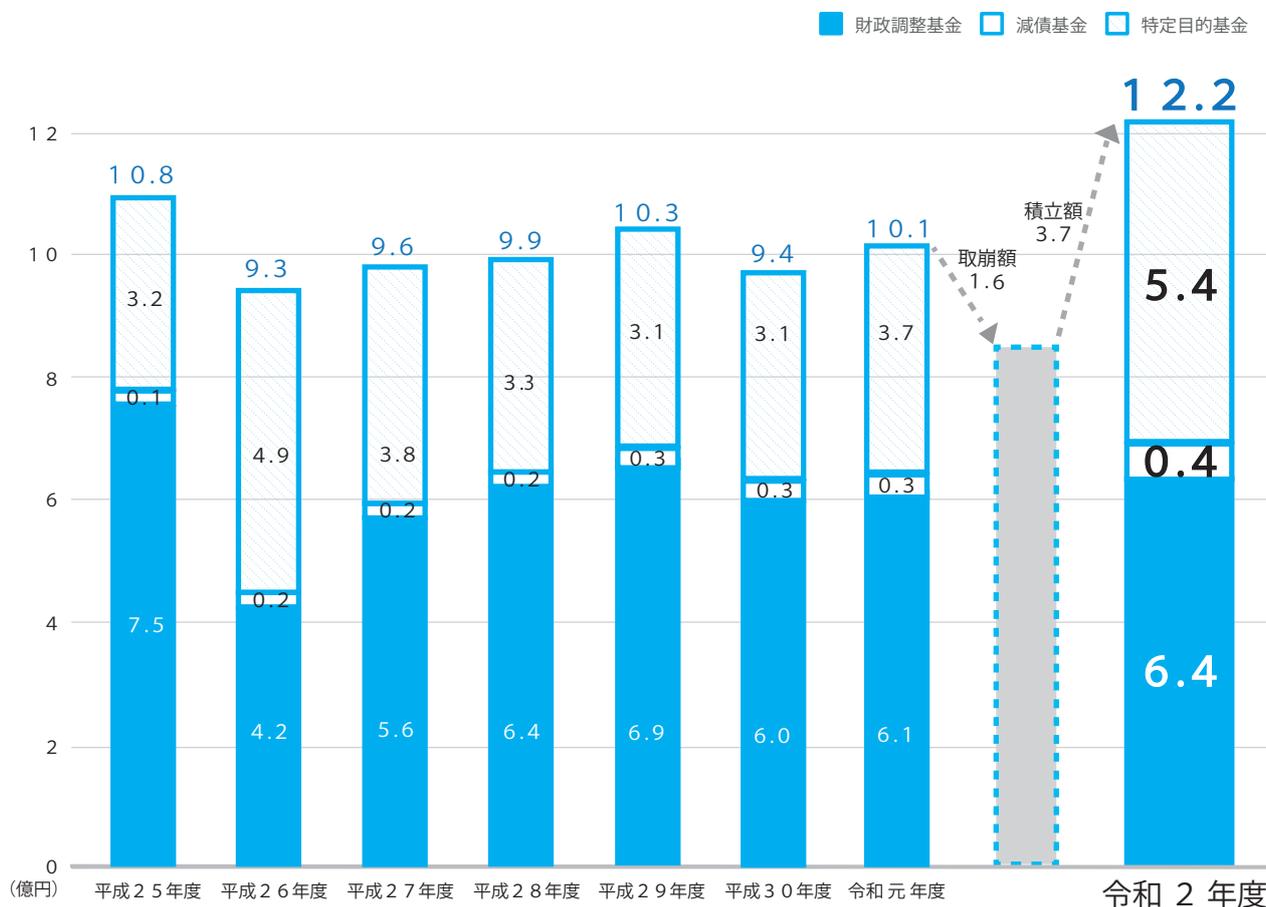
決算額 4 3 千円



グラフでみる

# まちの財政状況

## 基金残高の推移（一般会計）

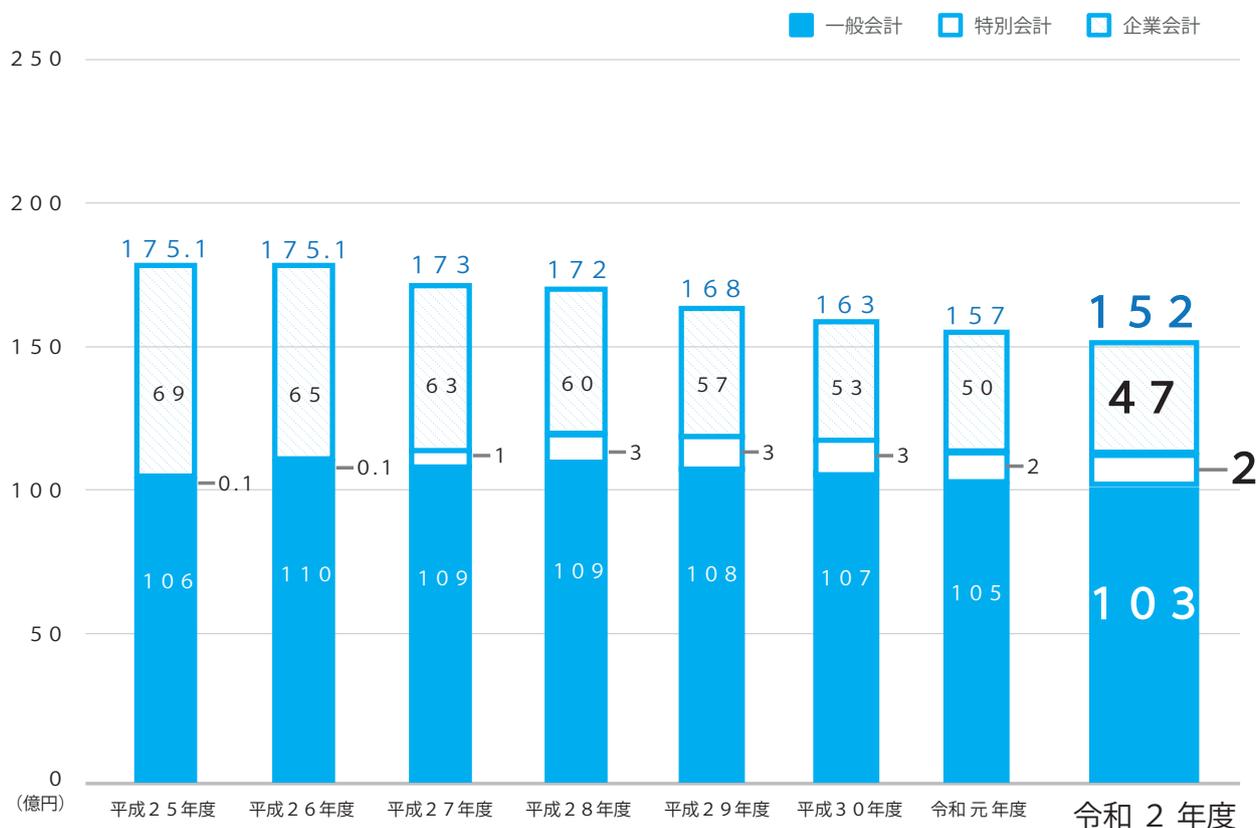


基金の年度末残額は12億2,759万円。  
前年比2億1,969万円の増になりました。

安定した財政運営を進めるための貴重な財源として、決算に伴う余剰金の一部や、寄附金などを原資として積み立てた基金の年度末残高は、一般会計分で12億2,759万円になり、前年度比で2億1,969万円の増となりました。

なお、令和2年度における取り崩し額は1億5,568万円で、積み立て額は3億7,537万円です。

## 町債残高の推移（全会計）



町債の年度末残高は152億8,560万円。  
前年比4億6,396万円の減になりました。

町債（町の借入れ金）には、毎年の財源負担を平均化する役割と、現在と将来の町民負担を公平にする役割があり、町では財政状況を悪化させないよう、町総合計画や行財政改革推進計画等に基づき、計画的な借入れを行っています。

町債の年度末残高は全会計分で152億8,560万円となり、前年比で4億6,396万円の減となりました。

## 財政健全化法に基づく指標からみた財政の健全化状況

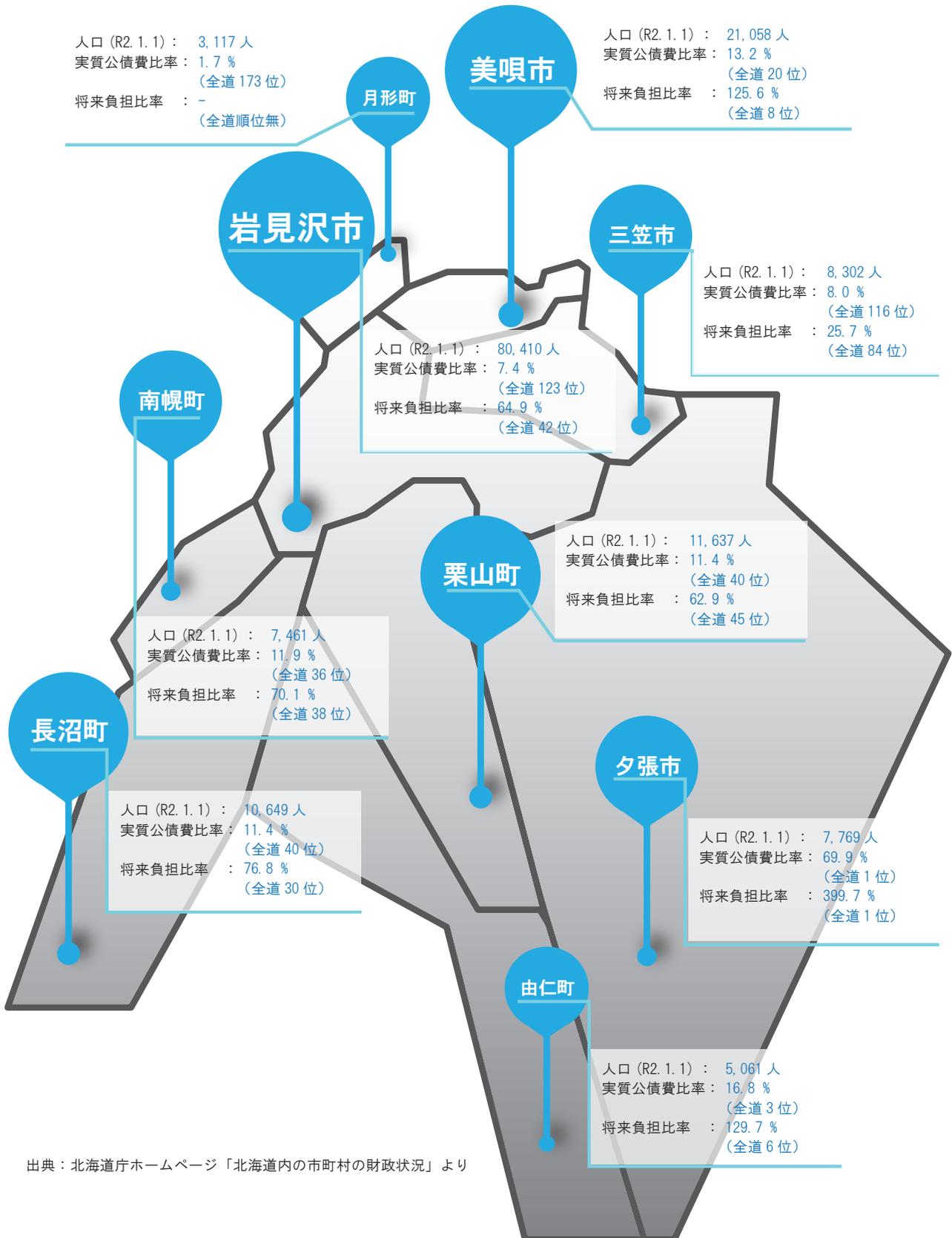
指 標	指標の説明	比 率 (R2 決算)	全道市町村 の平均 (R元決算)	基準値		
				早期健全化 基 準	財政再生 基 準	
健全化判断比率	実質赤字比率	一般会計を対象とした実質赤字の標準財政規模に対する比率	該当無	基準値以上の団体無	15%	20%
	連結実質赤字比率	全会計を対象とした実質赤字の標準財政規模に対する比率	該当無	基準値以上の団体無	20%	30%
	実質公債費比率	一般会計が負担する元利償還金などの標準財政規模に対する比率	11.7%	6.9%	25%	35%
	将来負担比率	一般会計が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率	54.1%	43.5%	350%	
資金不足比率 (水道・下水道事業、住宅団地・工業団地造成事業)	資金不足額(赤字額)の事業規模に対する比率	該当無		20%		

まちの財政は「健全基準」にありますが、依然として厳しい財政状況が続いています。

財政の健全さを計る指標を導入し再建の枠組みを定めた「財政健全化法」に基づき、町の財政状況を分析しています。

本町では、計画的かつ健全な財政運営に努めていますが、実質公債費比率や将来負担比率は依然として全道市町村平均を上回っていることから、厳しい財政状況が続いています。

# 南空知9市町の令和元年度普通会計決算概要



出典：北海道庁ホームページ「北海道内の市町村の財政状況」より

本冊子は、令和2年度の決算概要をご理解いただくため、要点を絞り作成しました。  
詳しい内容については、資料編「令和2年度主要な施策の成果表」をご覧ください。  
なお、お寄せいただいたご意見、ご感想などを次年度の冊子作成の際の参考とさせていただきます。  
町の財政情報を的確に、そして、分かりやすくお知らせしていくためのご意見などをお待ちしております。

発行 / 栗山町

発行日 / 令和3年10月

編集 / 経営企画課行政経営グループ

〒069-1512 北海道夕張郡栗山町松風3丁目252番地

TEL : 0123-73-7503 (直通) FAX : 0123-72-3179 (代表)

WEB : <http://www.town.kuriyama.hokkaido.jp/> ※ホームページにも本冊子の内容を掲載しています。